

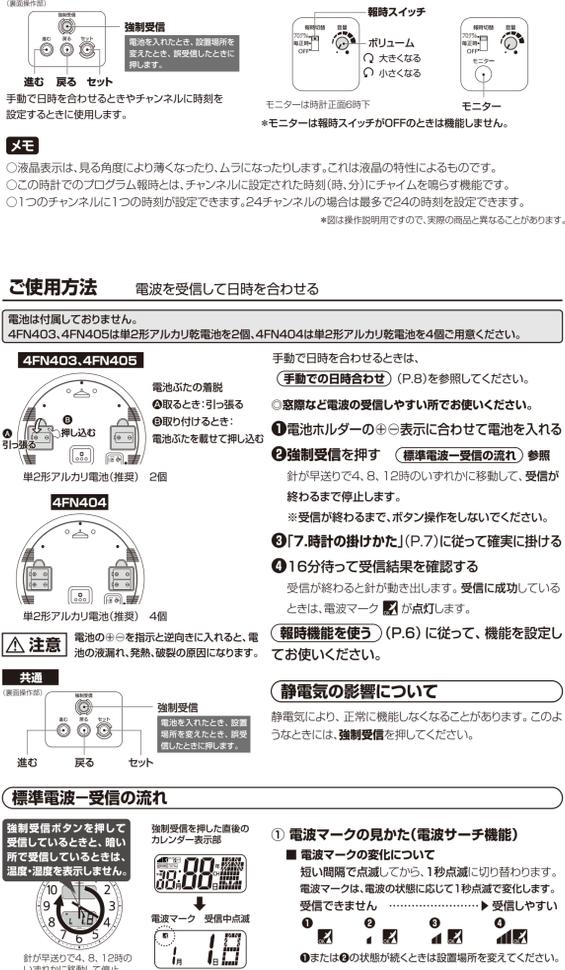
電波時計 取扱説明書 (報時付掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。
●お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。
●お読みになった後も、必ず保管して必要に応じてご覧ください。

株式会社 リズム株式会社
〒370-9551 埼玉県志木市大宮北4丁目11-29番地12
https://www.rhythm.co.jp

各部の名称と役割

この取扱説明書は、3つの機種に対応しています。機能が異なる場合は、対象となる型番を記載しております。説明書の図は、代表的な型番を使用しています。

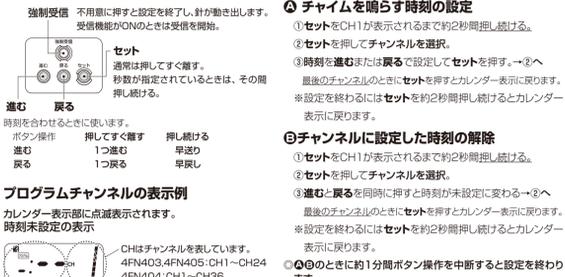


共通 (両面共通)
強制受信: 電波が入れたとき、設置場所を変えたとき、調整ボタンを押したときに有効です。
進む 戻る セット: 手で日時を合わせるときやチャンネルに時刻を設定するときに使います。

注
液晶表示は、見る角度により薄くなったり、ムラになったりします。これは液晶の特性によるものです。
この時計でのプログラム報時は、チャンネルに設定された時刻(分)にチャイムを鳴らす機能です。
1つのチャンネルに1つの時刻が設定できます。24チャンネルの場合は最多で24の時刻を設定できます。
※これは取扱説明書ですので、実際の商品と異なることがあります。

使用方法 電波を受信して日時を合わせる

電池は付属しておりません。
4FN403, 4FN405は単2形アルカリ乾電池を2個、4FN404は単2形アルカリ乾電池を4個ご用意ください。



注意
電池の液漏れ、発熱、膨張の原因になります。
共通
進む 戻る セット

標準電波一受信の流れ
強制受信ボタンを押して受信しているときは、温度・湿度を表示しません。
電波マークの見かた(電波サーチ機能)
電波マークの変化について
短い間隔で点滅してから、1秒点滅に切り替わります。
電波マークは、電波の状態に応じて1秒点滅で変化します。
受信できません 受信しやすい
●または●の状態が続くときは設置場所を変えてください。

受信終了 (約16分後)
成功: 電波マーク点灯
失敗: 電波マーク点滅
電波マークの見かた(電波サーチ機能)
電波マークの変化について
短い間隔で点滅してから、1秒点滅に切り替わります。
電波マークは、電波の状態に応じて1秒点滅で変化します。
受信できません 受信しやすい
●または●の状態が続くときは設置場所を変えてください。

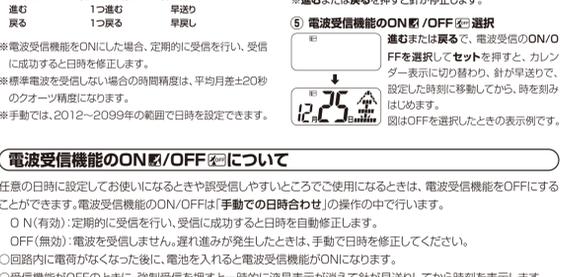
電波マークの見かた(電波サーチ機能)
電波マークの変化について
短い間隔で点滅してから、1秒点滅に切り替わります。
電波マークは、電波の状態に応じて1秒点滅で変化します。
受信できません 受信しやすい
●または●の状態が続くときは設置場所を変えてください。

受信成功 電波マークが点灯表示になります。
受信失敗 電波マークは消灯します。
表示されている日時は正しくありません。
「標準電波を受信できない場合」(P.8)へ
※受信に成功しても日時が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信を押してください。
電波マークは、25時間以内の受信結果を表示します。

静電気の影響について
静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、強制受信を押してください。

報時機能を使う

報時機能は、報時スイッチにより選択して使用することができます。
①「プログラム」:事前に設定した時刻にウェストミンスターチャイムを鳴らすプログラム報時機能。
②「毎正時」:毎正時、たとえば10時00分(に「ボン」と)10回鳴らす毎正時報時機能。



報時スイッチ 報時機能を選択してください。
プログラム 設定時刻にウェストミンスターチャイムを鳴らす。事前に鳴らす時刻を設定する必要があります。
毎正時 毎正時に、時刻に対応した数だけ「ボン」と鳴る。
OFF 報時機能を停止します。
ポリウム 報時音の大きさを調節してください。
モニター 報時音を試聴するときに押してください。報時スイッチを「プログラム」または「毎正時」にして、モニターを押し続けてください。試聴しているときは、モニターを押すと止まります。
プログラム:ウェストミンスターチャイムが鳴り、カレンダー表示に設定時刻を順に表示します。
毎正時:現在時刻に該当した数だけ「ボン」と鳴る。
OFF:鳴りません。

プログラム報時の設定

4FN403, 4FN405は24チャンネル、4FN404は36チャンネルに時刻を設定することができます。
○チャンネルに時刻を設定するとその時刻にチャイムが鳴ります。
○設定したチャンネルを解除(鳴らなく)するには時刻を未設定にします。
※設定した内容は、電池を取り外しても保持されています。

強制受信 不用意に押すと設定を終了し、針が動き出します。受信機能がONのときは受信を再開。
セット 通常は押してすぐ戻す。秒数が指定されているときは、その間押し続ける。
進む 戻る セット

ボタン操作
進む 1つ進む
戻る 1つ戻る
押してすぐ戻る
押し続ける
進む 早く進む
戻る 早く戻る

プログラムチャンネルの表示例
カレンダー表示部に点滅表示される。
時刻未設定の表示
CHはチャンネルを表しています。
4FN403, 4FN405: CH1 ~ CH24
4FN404: CH1 ~ CH36

時刻設定中または設定済みの表示例
時刻(時:分) 午後時間帯の2分午後表示

液晶表示について

液晶表示は、時計を掛けて少し見上げる位置がくっきりと見やすくなります。使用している液晶の特性上、他の方向から見ると、表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。

明るセンサーのはたらき

明るセンサーにより、暗くなると秒針を12時位置で停止させ、「毎正時」の報時を停止させます。
昼間や夜間の照明などが正しく明るさが不足すると明るセンサーが反応します。
※明るくなると再び秒針が正しい時刻に早送りして復帰します。
※報時スイッチが「プログラム」のときは、暗くても報時をします。

時計の掛けかた

注意
掛けかたが不適切な場合、落下する危険があります。
○掛かたは上下、左右に軽く動かして、壁掛けの掛け具(木ねじ)がしっかりと掛かっていることを確認してください。
○画面に重さがかかると、傾いたり掛け具から外れるおそれがあります。
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛けがしっかりと掛かるものを選んでください。
○ドアを開閉するときの衝撃が伝わらない所に設置してください。
○掛け部以外のところに掛け具を掛けないでください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合
付属の木ねじが使用できる場合は、木の柱または木質の厚い壁面です。
●木ねじは右図のとおり、壁面にしっかりとねじ込んで固定してください。

石こうボードの壁面の場合
付属の取付金具を使用できる場合は、石こうボードの壁面です。
●壁の材質、取り付け方を確認の上ご使用ください。
●付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
●取付金具は水平に取り付けてください。傾けたり取り付けたら傾きます。
●取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

その他の壁面の場合
コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重さや接続、壁の強度を必ずご確認ください。
その際、粘着式や吸盤式の掛け具は落下する危険がありますので、使用しないでください。

標準電波を受信できない場合

一般的にそのままだとよく
●朝起きて、夜間には電波状態が良くなるので、手で日時を合わせて一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
●場所を変えたり/受信をやり直す
電波を受信しやすい窓や取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面に電波の送信所になるべく向くようにして、強制受信を押して再度受信を行ってください。
●時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功すれば、手で日時を合わせて使用してください。
電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での日時合わせ 電波を受信できないときや任意の日時に合わせるとき

① 戻るまたは進むを西暦年が点滅するまで約3秒間押し続けます。
② 西暦年、月日、時刻、電波受信ON/OFF順に設定します。
●進むまたは戻るを押して数値を合わせます。
●セットを押すと次のステップに移ります。
※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、カレンダー表示に戻ります。

強制受信 不用意に押すと設定を終了し、針が動き出します。受信機能がONのときは受信を再開。
セット 通常は押してすぐ戻す。秒数が指定されているときは、その間押し続ける。
進む 戻る セット

ボタン操作
進む 1つ進む
戻る 1つ戻る
押してすぐ戻る
押し続ける
進む 早く進む
戻る 早く戻る

※電波受信機能をONにした場合、定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。
※標準電波を受信しない場合の時間精度は、平均月差±20秒のクォーツ精度になります。
※手動では、2012~2099年の範囲で日時を設定できます。

電波受信機能のON/OFFについて

任意の日時に設定しておいたときや誤受信しやすいところでご使用になるときは、電波受信機能をOFFにすることがあります。電波受信機能のON/OFFは「手動での日時合わせ」の操作中で行います。
ON(有効):定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を自動修正します。
OFF(無効):電波を受信しません。遅れ込みが発生したときは、手で日時を修正してください。
○回路内に電荷がなくなると、電池を入れると電波受信機能がONになります。
○受信機能がOFFのときに、強制受信を押すと一時的に液晶表示が消えて針が早送りしてから時刻を表示します。
○受信機能をOFFからONにしたときには、強制受信を押して受信を開始させてください。

電池の交換時期お知らせ機能について

電池の交換時期になると、秒針が12時位置に停止して液晶表示部に電波マークが表示されます。このような状態になったときには、速やかにすべての電池を新品に交換して強制受信を押してください。
電波マークが表示されると次の機能が停止します。
①標準電波の受信
プログラムチャイム機能は停止しません。
時計がこのような状態になったら1ヵ月程度動き続けます。

注意
電池の液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。
●時計が動いていても定期的に交換する。
●交換する目安は、製品仕様の電池寿命の項目をご覧ください。
●報時機能を使用しないで、電池を入れたまま長期使用すると電池が液漏れを起こしやすくなりますので、最長でも5年を目安として交換してください。
●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。

電池の種類について

●一部に充電式の電池は電圧が低く、時計には向きませんので使用しないでください。
●一部の電池は、形状的に本製品には向きません。
(例)Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池 ※EVOLTAは、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

温度・湿度表示について

時計が設置された所の温度と湿度を表示します。
センサーが時計内部にあるため、ときには周囲の温度・湿度の変化を反映しません。
●次のようなときは温度・湿度を表示しません。
○電波受信機能がONのときに強制受信ボタンを押したとき。
○強い場所での自動受信をしているとき。
●設置場所について
○本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。
○屋外、浴室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
○直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。床暖房などしていない一般的な室内では、低い位置では温度は低く、湿度は高くなります。
※温度は「空気のかたまり」として移動するため、屋内室内でも風通りのよいところと悪いところは違いがでます。

●温度・湿度の表示について
○湿度は、相対湿度表示です。
○測定範囲を超えたときの表示とその意味は以下の通りです。
湿度 LL: < 20%RH未満 HH: > 95%RHを超える多湿 --: 計できない
温度が5℃未満または50℃を超えたときには、湿度の測定ができません。
※厳密な温度・湿度管理・温度・湿度の証明や取用には使用できません。

メモ.....相対湿度

空気のなかにとれたけい水蒸気(水が気体になったもの)があるかを示すものです。
単体重量の空気に含まれている水蒸気量の最大値を100%と定義し、これを飽和水蒸気量といいます。この飽和水蒸気量と実際に空気に含まれている水蒸気量の比を百分率で表したものが相対湿度です。
「%RH」は相対湿度を表しています。天気予報など一般的には、単に「%」で表示されることが多いです。

おもな製品仕様

Table with 3 columns: Model (4FN403, 4FN404, 4FN405) and rows for various specifications like temperature range, time accuracy, digital display, LCD, temperature/humidity display, calendar, battery type, battery life, alarm stop, time setting, time zone, reception, auto reception, manual setting, time zone, alarm stop, program channel, alarm stop, volume control.

※1 LCDについて
▷液晶には表示が薄くなったり、反応がなかったり、消えたりすることがあります。40℃以上では表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。また、温度が0~40℃以下では正常に反応しません。
▷液晶はおよそ5年を経過すると表示が薄くなる場合があります。
※表記の電池寿命は、新たなおもな製品仕様の標準電波を受信した場合に適用されます。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 木ねじ 1個、取付金具 1個、< 4個、保証書 本書

安全にお使いいただくためにはじめに読んでください

この注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

- 警告
●死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
○誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
○電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る。
●電池をショートさせない。
●電池を加熱しない。
●電池を分解しない。
●電池を火の中に入れない。
●可燃物のそばで保管しない。
●電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない。
●目や皮膚に当たったら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにお問い合わせください。
●下部の様な場所では使わない。
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
●直射日光が当たる所。
●室温が10℃以下または50℃以上の所。
●火災のそば。
●強い磁気を発生させる機器のそば。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●プール、温泉などガスの発生する所。
●調理場など多量の油を使用する所。
●土や灰質の粉りや埃がこぼれ、直接ふれさせておくと、色褪せや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水をやわらかい布に少量つけておき取り、その後、乾かしてください。
●ケースなどの汚れ落としに、ペンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
●静電気により、時計や掛けたい壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池・時計の廃棄

●お住まいの自治体の指定に従ってください。
●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はゼロランテープなどで巻縛してください。

電波時計について

電波時計とは
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波をクォーツ時計の発振器に正確な時間信号を送ります。

標準電波とは
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
情報電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セプトム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、「福島局:おおたかや山標準電波送信所」と九州局:はか山標準電波送信所」の2局にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://ajiy.nict.go.jp)
※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について
送信用の定電圧や電圧の影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。
海外での使用について
この時計は、日本以外の標準電波を受信できません。海外で使用した場合は、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準電波を受信して、ノイズに反応して日時を表示することがあります。表示を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにお問い合わせください。

標準電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。
●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●家電製品やOA機器の近く
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●スチール製の金属製家具の上や近く
●地下やビルの谷間
●窓のないパトのフロア
●高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
●大規模オフィスの窓から遠く離れた所
●家電量販店などノイズが多い所

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証が必要となります。

●修理部品の修理について
電子回路や歯車などの修理用部品は製造打ち切り後、7年間で標準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品については、修理用部品の使用や部品交換が対応していただくことがあります。
●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 リズム総合サポート
https://rhythm.jp/support/
※お問い合わせの際は、製品型番または画面に表示される製品番号(番番)をご確認ください。
例) 4FN403, 4FN405
お客様相談室: 0120-557-005 受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休業日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することや禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる責任も、当社、その他の関係者に及ぼす責任を負いかねますのでご了承ください。